



めざせ！水やりの達人

ハツチくん通信

おうちにいる時間が増え、園芸を始めた人も多いのではないのでしょうか。
 花が咲いたり、成長しているのを感じると嬉しいですね(*^-^*)
 しかし、時には上手く育たずに枯れてしまうことも…（私も経験があります）
 そこで、今回は鉢植えの水やりのコツをご紹介します。

水やりは、土が乾いてから

根が伸びる条件は、乾湿をくり返すことです。いつも水分がある状態では伸びることができません。
 そのため、**十分に土が乾いてから**水をあげましょう。



水の量は「たっぷり」

鉢底から水が出るまで、たっぷりあげましょう。鉢の中に酸素が送られ、老廃物も流れ出ます。
 逆に表面が湿るだけの水やりでは、根が上側にしか張らずに、水切れしやすく、枯れやすい株になってしまいます。

葉先が垂れてきたら 水やりのサイン

葉っぱの先が少し垂れるくらいが水やりのジャストタイミング。
 水分が不足するとしんなりして弾力がなくなり、さらに足りなくなると花茎が垂れ下がってきます。
 それを過ぎると回復できずに枯れてしまうことも……。

土の乾き具合は、指で確認

指の第一関節まで土の中に入れます。
 指の湿り具合で、土の表面ではなくそれよりも深い部分が乾き始めているかで判断します。



水やりチェッカー

色の変化で水やりのタイミングが一目でわかる便利グッズ☆
 花屋さんなどで購入できます

